

ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名		No.B-2		調査位置						北緯		36° 34' 10.9600 "					
発注機関		栃木県宇都宮土木事務所				調査期間		2009-06-18 ~ 2009-06-23				東経		139° 51' 38.6800 "			
調査業者名				主任技師				現場代理人		コ ン 定 者		ボーリング責任者					
孔 口 標 高		130.62 m		角 上				方 向				地盤勾配		鉛 直 0°		使用機種	
総掘進長		11.40 m		度 下		0° 0.00°		方 向		西 270° 東 90° 南 0° 北 90°		地盤勾配		鉛 直 90° 水平 0° 0.00°		試錐機	
												ハンマー 落下用具				エンジン	
												ポ ン プ					

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相對密度	相對稠度	記事	地層岩体区分 ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進 月日		
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	試料番号			採取方法	
												0	10	20									
1	129.52	1.10	1.10		埋土 (Fi)	暗灰～黒			深度0.～1.0mはφ0-80mmの砕石主体にシルト・ロームが混じる。深度1.0m以深部は旧表土のシルト。含水量中位。		1.15 1.47	1 19	1 7	1 6	3 32								
2	128.22	1.30	2.40		ローム (Lm)	褐～暗褐			含水量・中位～多位。上部は有機物が混じる。下部に軽石が混じる。		2.15 2.39	1 15	1 6	2 3	4 24								
3	127.17	1.05	3.45		軽石 (Pm)	黄褐～褐			径2～5mm程度の鹿沼軽石。粒子は指圧で潰れる。含水量・中位～多位。		3.15 3.47	1 32			1 32								
4	126.62	0.55	4.00		火山灰質粘性土 (V)	褐灰～暗褐			含水量・多位。粘性性を帯びる。	06/22 3.80	4.15 4.45				17 30								
5	126.37	0.25	4.25		砂混じりシルト (M-S)	褐			含水量・高位。軽砂が多い。最大礫径15cm内外の玉石が混じる。		4.15 4.45	1 5	11		17 30								
6	124.37	2.00	6.25		砂礫 (GS)	褐灰			径10～100mm程度の垂円～円礫主体。マトリックスは砂主体に細粒分を含む。		5.15 5.26	6 44	1		50 11								
7	124.17	0.20	6.45		砂混じり砂 (S-G)	褐			軽砂分主体。径15～30mm程度の礫が混じる。最大礫径15cm内外の玉石が混じる。		6.15 6.45	14	8	9	31 30								
8					砂礫 (GS)				径10～100mm程度の円礫が主体。マトリックスは細粒分混じり砂。9.0m付近より含水量が部分的に多い。		7.15 7.43			13 20	50 28								
9						褐灰					8.15 8.44			19 18	50 29								
10											9.15 9.45				42 30								
11	119.22	4.95	11.40								10.15 10.45			16 11	44 30								
											11.15 11.40			11 5	50 25								